

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

262号



2023年10月31日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 羽田訴訟の公判

10月24日(火)の午後、秋晴れの上天気の中、無粋な東京地裁103号大法廷に傍聴に行ってきました。

幸い抽選にはならない程度の傍聴希望者で大法廷はほぼ満席の状態でした。

裁判長が替わったので、二人の原告が改めて陳述をし、思いの籠もった意見をのべました。傍聴できるのは久しぶりでした。次回はまた進行協議で12月5日(火)です。

この日本の裁判の遅さはなんとかしなければ!です。袴田さんなど失われた年月は誰が返してくれるのでしょうか。この裁判でもいきなり航空機騒音に苦しめられ、一刻も早い解決を待っている人達の気持はどんなでしょうか。

今回の陳述で一番印象に残ったのは、昭和41年ごろの飛行機事故多発を受け、石油コンビナートを抱える川崎市が危機感から上空飛行禁止を訴えた意見書に対し、国が川崎市上空飛行を禁止した「昭和45年通知」がずっと安全を守ってきたが、「令和元年12月通知」によって廃止となった事に対し処分性が認めらるべき、という主張でした。 H・S

○ 常盤台景観ガイドラインの強化とは

前号でしゃれ街協議会がガイドラインを無視する建築計画に対し、ガイドラインの強化を考えているという記事を出しましたが、ガイドラインの内容を変えると誤解した向きがありました。ガイドラインを徹底するという意味での「強化」です。詳しくはしゃれ街協議会からニュースで報告があると思います。

○ 旧中央図書館閉鎖

常盤台公園内の旧中央図書館の正面玄関入り口が板で封鎖されました。ガラスのドアの保護のためでしょうか。コロナワクチン接種会場にも使われなくなり、全く機能しなくなったわけですが、取り壊しの予定、その後の跡地についてなど、未定ということです。

○ 新車の振り込み詐欺

Kさんの電話にかかってきたのは息子と名乗る男、喉の腫瘍が見つかり至急入院する、声の変なものはそのせい、と言います。入院先の医師というのが次に電話に出てもっともらしいことを言う。Kさんはこの時点で息子の病気に動揺しており、息子だと信じて疑わない。おまけに携帯は病院のどこかで紛失してしまったと言う。また連絡するといったんは切れ、娘の方に連絡するとそれは詐欺に違いないから息子に確認しなさいと言われ、本物の息子に電話して初めて目が覚めたそうです。何かと工夫を凝らして騙そうとしますから、くれぐれもご注意を!

○ 写真展の作品募集

「ギャラリー服部」では次の期間に企画する写真展の写真を募集中だそうです。

11月23日(木)～12月5日(火)

申し込み及び搬入 11月18日(土) 4時まで

テーマ 自由 2作品まで

サイズ 6切～ワイド4切(額装各自)

出品費 無料

申込み 03-5915-2210(ギャラリー服部)

毎年力作が見られ、金・銀・銅の賞があります。可愛いお子さんやペットのスナップ、旅行先の風景など、出してみたいかがですか?

ツミの繁殖

ツミという小さなタカは七月に見かけた後、声だけ公園の樹上から聞きました。一度電線に三羽止まっていたのを見ました。すぐ飛び去ってしまいました。二羽の若鳥を連れ親だと思いません。ツミは集団を作れませんから。すると、常盤台公園で子育てをしたのかも知れません。そのためかスズメの数が少なくなつたような気がします。

伝統のよしあし

神社の御神輿をかついでいる人々を見ると昔、女性は不浄の者として触れさせなかつたのに、今は堂々と男性に劣らず楽しげに担いでいます。それは女性の参加を認めないとやっていけなくなつたので、価値観が変わつたわけではないのでしょうか。相撲の土俵には未だに女性を登らせないではありませんか。

世界はますます人権尊重の意識が高くなつていくのに、日本人の意識が追いついていないので、様々な分野での女性の順位が低いのが現実です。私たちは伝統を尊重する民族なのか、伝統というだけでたとい人権侵害であつても黙認してしまつていのではないのでしょうか。

由緒ある伝統であつても悪しきものと良きものとがあることを見分けねばなりません。悪しきものであつたなら直ちに廃する勇気をもたねばならないと思います。

酷暑の夏を忘れない

今年の夏、経験をしたことがない酷暑を体験しました。この酷暑の原因がどこにあるのかは、だれでも知っています。しかし、残念なことに、ではどうするのか、という議論は聞こえてこず、世の中ではCO2を無駄に増加させることばかりが騒がしい様子。一番無駄にCO2を排出させているのは「戦争」とその準備だと思えますが、万博やカジノも不必要な極みでしょう。さらに、新幹線の五倍も電氣を使うリニア新線の建設・運行も全く不用です。CO2排出の元凶の航空機の羽田増便などもそもそもしてはいけないことでしょう。

五〇年遅れの発想

四月の区長選の討論会で坂本区長は「モーターゼーションの時代。すべての駅に自動車で行けるようにしたい」と発言。世界の大都市では、いかに車を通りにくくし、人や自転車を通りやすい街づくりがめざされています。東京でも下北沢駅では地下化で立体化が完了した後でも、駅の周囲100m以内には信号機がいらぬ街を作っています。モーターゼーションなんて五〇年前の発想です。

ゼネコン出身の坂本区長のもと板橋区ではいま巨額な公費がつき込まれて、高さ100mクラスのタワーマンションづくりがいつか七棟も進められています。これもCO2抑制とは真逆の計画です。

「みんなで作るSDGs未来都市いたばし」とは、板橋区のスローガンですが、百年後のタワーマンションの姿を想像できますか。 M・Y

常盤台公園のはなづくり

この夏の酷暑でツツジが何本も枯れました。水やりはまた難儀な労働となり、気まぐれな雷雨をまたねばなりません。公園の花壇のイソトマ達もからの状態で、水をいくらやっても「焼け土に水」そのものでした。

このような気候が来年も再来年も続くようなら、六月に植える夏用花壇の花苗は辞退したほうが良さそうです。ヒマワリなら持ちこたえるかもしれません。

秋めいてきた頃、繁茂していたのはエノコログサとヤブカラシ。雑草という名の植物は無いと牧野富太郎におかれそうですが、至る所で見られる雑草です。特にヤブカラシはツツジ等の上に葉を拡げ、太陽光を奪って繁茂する寄生虫的存在です。同調して蔓をからませて伸びる植物もあります。人間界でも権力者に追随して偉そうにしている輩もいますね。

十一月九日にはチューリップの球根植えがあります。ヴォランティア活動にぜひご参加を！

